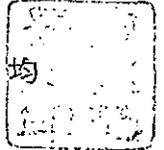


東員土第309号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

三重県 東員町長 佐藤 均



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平素は、道路事業に対し、格段のご理解、ご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。
さて、平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼のありましたことについて別紙のとおり回答致します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

三重県 東員町

・道路の整備充実は、地方にとって、産業の発展と地域住民の利便性の向上を図る意味においても欠くことのできないものです。

しかしながら、本町及び周辺においては、高速道路、国道、県道をはじめとする幹線道路の整備が大幅に遅れ、特に、進展しない東海環状自動車道や国道 421 号の交通安全対策をはじめとする国、県道等の整備が遅れている状況にあります。

これらの道路網の整備が早急に進まなければ、基幹道路を中心とした活力あるまちづくりや産業振興対策等への悪影響が懸念されます。また、発生が確実視されている東海・東南海地震など災害時の緊急輸送道路網が確保されず、救助や復旧に大きな支障を及ぼすことが予想されます。

このように地方の道路整備は、まだまだ遅れており、未だ道半ばでありますので、真に必要な道路の整備に係る財源の確保を切に要望するものです。

② - 1 地域の現状と抱える課題

○現状

・本町の道路網は、北部を東西に横断する国道421号、また、南部を通過する国道365号を軸に主要地方道桑名大安線、菰野東員線、一般県道四日市東員線、多度東員線、桑名東員線などで構成されております。しかし、これらは順次整備が進められているものの、その多くは幅員が狭く、朝夕の交通混雑を引き起こしております。

・町南部において新名神高速道路、東海環状自動車道および東員インターチェンジ（仮称）の建設が平成27年度を目途に計画されており、広域的な交流・連携を促進するための基盤が整備されることとなります。

○課題

・町の骨格となる東海環状自動車道、国道421号、365号と連携のとれた道路網や生活に密着した生活道路、災害に強い道路の整備を推進することが重要であります。

・新名神高速道路、東海環状自動車道の早期整備を関係機関に要望するとともに、整備を生かしたまちづくりを進めることが重要であります。

そのため、これらの高規格幹線道路の整備にあわせ、アクセス道路の整備や、東員インターチェンジ（仮称）周辺の土地利用のあり方について合意形成を図るとともに、環境等に配慮した周辺整備を推進していく必要があります。

② - 2 地域の目指すべき将来像

・新名神高速道路、東海環状自動車道の開通により、東員インターチェンジ（仮称）の周辺での急速な市街化が予想されることから、アクセス道路の整備を進め、交通の利便性を生かした物流系、商業系、工業系機能の導入を図るとともに、住宅地需要の動向を見ながら住居系機能を導入し、複合的な機能を兼ね備えた新たな市街地を形成します。

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な交通体系の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校周辺の生活道路等の整備により歩道を設置（県道菰野東員線の安心路肩整備、町道 584 号線道路整備） ・三岐鉄道北勢線の存続のため沿線市町が駅及び駐車場等を整備（東員駅、穴太駅） 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩・車道が分離されたことにより、学童の安全が確保されたことと車がスムーズに通行できるようになり通過時間が短縮された。 ・駅前駐車場の整備により、パーク・アンド・ライドが進み鉄道利用者の増加や市街地への幹線道路の渋滞緩和、温暖化防止に貢献している。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・良好な市街地整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海環状自動車道の東員インターチェンジ（仮称）の建設計画や国道 365 号等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ショッピングセンターの立地や自動車関連企業の進出が決定した。これにより、住民の雇用の創出が期待される。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・安全な生活の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内 2 級河川に架かる主な町道橋の耐震化事業（9 橋） 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化事業の実施により、災害時の避難通路の安全や緊急物資の輸送路の確保が図られ、住民の安心感が高まった。 	